

# Motor Bike

モーターバイク

平成18年1月10日発行(毎月1回10日発行)  
昭和51年6月11日第三種郵便認可 第31巻 第1号

2006  
1

拝啓ヤマハ様  
僕達はこんなVMAXが  
欲しいんです!

現地試乗  
2連発

YAMAHA

YZF-R6 &  
Road liner

ハーレー  
カスタム  
たっぷり満喫

## Cool Breaker 2005

お腹にプレゼントつめこんで  
DBサンタ隊が行く

本場でどっぶり満喫

# X-Party in U.S.A.

## パーティはあと2回続くのよ

特別  
付録

2006  
CBカレンダー

## TRYJA

↓見事なアメリカ西海岸系のハイテック・ネオチョッパーへと仕上げられた一台。車体を覆うフレイムパターンもさることながら、フレームとフォーク長、タンクなどのバランスも完璧だ。今年出展されていたロングフォーク系カスタムの中ではトップクラスの出来映えだったといえる。



## FUJISHIMA

↑ストリート・ホットロッドテイストを全面に出しながらも、それだけで終わっていないスタイルがナイス。フロントの縦2連デュアルヘッドライトを装備したカウルなど、オリジナリティ溢れる造形が各所に見られる。複雑なペイントワークも美しいのひと言だ。



## HAMMER CYCLE

↑ハーレーのFXRをベースにしたコイツは、荒々しさを持ったストリート・ホットロッド仕様。エキゾーストパイプをシート下に取り回すなど、独自のアレンジが随所に施されている。まだ新しいショップだが、今後の展開が非常に楽しみなのだ。

## BAD LAND

↑ヨーロッパの高品質なカスタムパーツを広めるべく活動するバッドランドでは、まだ未完成ながら強烈なスタイルのカスタムが展示。このフレームの高さはハンパじゃないが、それ以前にこのバイクが完成した時、普通の体格の日本人が乗れるのか!?

# ライドイン・ショーだって大盛り上がりだったのだ!

今回のクールブレイカーで初めて行われたのが「ライドインショー」ステージに一台ずつバイクが(自走して!)登場し、観客の投票を行うもののだが、この投票方式が凝っていて、よくテレビであるように、客席にそれぞれ設置されたスイッチを押すことによって、トータルの点数が電光掲示板に出るといった仕組み。ステージに上がった各出

展者はそれぞれ独自のパフォーマンスで客を沸かせるなどしてポイントを稼いでいた。



ステージ上ではアクセルを吹かしまくったり、それでもダメなら自分自身でアピールする人たちが続出。その盛り上がり度に応じて点数も上がっていった面白かったのだが、ステージに上がった人にとっては自分のバイクがジャッジされるとあって、かなりのドキドキものだったハズだ。んで総合順位は初日と2日目のトータル点数で決められたのだが、最終結果はホットドックの新ブランド、ナイトイーターのマシン(P13参照)が見事トップに輝いた。

